

# 今田連盟丸いざ出航!



平成6年  
5月31日  
第70号

発行所  
広島県歯科医師連盟  
広島市中区富士見町11-9  
TEL (082) 241-5525  
編集兼発行人 青井隆男

## 広島県歯科医師連盟

### 今田良男氏が会長就任

平成六年四月一日より、名称が広島県歯科医師政治連盟の政治が取れ、新たに広島県歯科医師連盟とかわった。  
又、長岡貞彦会長の勇退により、新会長に今田良男氏が就任し、四月二十日に第一回理事会が開催された。  
国会では、羽田孜首相の連立与党は少数であり、早ければ七月には衆議院選挙が行われるかのような情報が流れてきている。そうならば今田執行部として初の大型選挙を迎えることになる。

### 会長就任御挨拶

広島県歯科医師連盟

会長 今田良男



此の度、平成六年の新年度発足に当たり、図らずも松島県歯会より連盟会長のご指名を受けるところとなりました。固より浅学非才の身であり此の重責に堪え得るか否か甚だ危惧するところではあります。幸い宝諸副会長以下有能な役員によるキャビネットを構成する事が出来ましたので、駄馬に鞭打って向こう三年間全力疾走し、松島会長始め会員の皆様方のご期待に副う決意であります。名会長の誉れ高かった長岡前連盟会長同様、何卒宜敷く御指導御鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

連盟と呼称する事になりましたが、これは単なる名称の変更でその内容実質には全く変更はありません。広島県歯科医師連盟規約にはその第三条で「本連盟は会員相互の緊密な協力により政治力を強化し歯科医師の業権の確保とその発展を図る」と規定されています。連盟と本会とは車の両輪であると言われますが、あく迄も本会が主たる動輪であり連盟はこれを側面から支える補助エンジンであります。松島本会会長の進められる動輪に併行して、その方向指示器に従って連盟も進んで行くということであります。

二十世紀も愈々世紀末を迎え現下の国内外の情勢はまさに激動の様相を呈しております。ベルリンの壁の崩壊に象徴される東西対立冷戦構造の崩壊、それに伴う世界各地での民族紛争

### 難しい対応を迫られる

### 歯科医師連盟

広島県歯科医師会

会長 松島 悌二



衆議院解散総選挙も巷間取沙汰されているなかで、来年夏に迫った参議院選挙を如何にするのか、日歯連盟の対応が注目されるわけであります。日歯連盟では昨年三月、参議院比例代表制選挙には、従前どおり単一候補を擁立するという方針を打ち立て、その結果、奈良県より松井正剛氏、神奈川県より原慶治氏の二名が立候補されましたが、本年三月になって両名とも辞退ということになったわけでありました。しかし、日歯連盟ではあく迄も候補者を擁立するという姿勢に変わりがないようで、自民党が下野した現在、自民党が連立を模索するかと思えば、羽田内閣の総辞職を前提として連立復帰を議論するなどの政治の世界は一寸先が闇だといえ、その構図という政治の流れが理解しにくい状況にあること、先生方ご承知のとおり

細川政権の突然の辞意表明で国政は麻痺状態に陥り、紆余曲折の結果、羽田政権が誕生しました。しかし、社会党の政権離脱により、小選挙区としてのスタートを余儀なくされた羽田総理の前途は誠に多難なものがあります。新生会派結成の蚊帳の外におかれた社会党が反発するのは理解できるとしても、自民党との連立を模索するかと思えば、羽田内閣の総辞職を前提として連立復帰を議論するなどの政治の世界は一寸先が闇だといえ、その構図という政治の流れが理解しにくい状況にあること、先生方ご承知のとおり

規には行かないのでその辺りを十分に勘案して慎重な取り扱いはする事。第三に、現下の情勢では政党を選ぶという事は難しいと考えており、寧ろ人物本位で対応せざるを得ないという事。以上要するに、本日に歯科医師会の事を考えて呉れる人と協調の精神による会員の団結の賜物以外の何物でもありません。此の伝統ある広島県歯科医師連盟の火を受け継ぎこれを盛んに燃やして続け乍ら次の世代にバトンタッチすべく、これから三年間のコースを只管走り続ける決意でありますので、何卒力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。重ねてお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。

### 広島県歯科医師連盟の

### 限りなき発展を祈って

広島県歯科医師連盟

前会長 長岡貞彦



思い起こせば平成元年三月第十七回改選評議員会でありました。思いもかけなかった県歯政連会長という重責に指名されました。時將に、その年、夏の第十五回参院選を控え、宝諸会長代行のもと政連組織の充実強化が漸く軌道に乗りました。四月初旬に行われた第十二次統一地方選においては、推薦候補三十二名、当選者三十名。念願でありました会員候補、石橋良三先生が初の県議席を獲得されました。三戸應則先生が市議の席を失なわれたことは残念でございました。

七月の第十六回参院選では、大島慶久先生が比例代表の四位として堂々の当選、千葉地方区では井上裕先生が、広島地方区でも推薦候補の宮沢弘先生がそれぞれ最高点で当選を果たされたことは、会員各位を始めとする皆様方のご尽力とご努力によるものであります。

平成五年に入りまして七月の第四十回衆院総選挙においては、自民党の大変な逆風の中で本政連推薦候補七名、日歯政連推薦候補二名の擁立が行われました。雄氏の最高位当選を始め七

苦勞戴いた長岡会長に代り今田良男先生が会長に就任され、役員人事も一新されて新しい年度を迎えることとなりました。組織の名称は変わりましたが、従来からの基本路線を踏襲することに変わりはないわけで、時代の変化に即応できる態勢を維持するなかで会員の業権を確立することを目的に、連盟が更に飛躍発展するよう、新年度に当り心から切望するものであります。

十一月の広島県知事選に本連盟顧問の藤田雄山参議院議員に三原市長の溝手頭正氏の擁立、当選と、この年度は三度の選挙戦を戦って参りましたが、何れも予想を上回る成果を得させていたことと感謝いたしているところであります。これも偏らに会員各位を始めとする皆様方のご協力とご支援によるものであります。本当に永年にわたる有難うございました。ここに紙上をお借りいたし、ご挨拶申し上げます。この混沌とした政治情勢のもと、我が連盟の行く道は峻険極まりないものと想像いたしておりますが、どうぞ今田新会長のもとに会員一同の英知を結集され、ご精励賜りますようお願い申し上げます。

最後に、ご家族の皆様、従業員の皆様のご健康と御栄を祈り申し上げます。平成六年四月



広島県歯科医師連盟

平成六年度第一回理事会開催



挨拶する今田新会長

続いて新役員... 中央情勢報告... 会務報告... その他... 次協議事項

平成六年四月二十日(水)に入り、時局対策について話し合った。最後に本山副会長の閉会の辞にて終了した。

平成六年度事業計画

一、基本方針... 従来からの基本路線を踏襲し、急激な時代の変化に即応できる態勢を維持する

第二十四回政連評議員会開催

平成六年度事業計画等を承認

平成六年三月二十六日、午後三時半より大手町鯉城会館に於て、第二十四回評議員会が開催された。



挨拶する長岡会長

宝諸副会長の開会の辞の後、議長の本島春氏と副議長の植木直之氏の進行の下、議事録署名者に尾道の中尾勝彦、安芸の根石岩二両氏を指名した。

各位を始めとする皆様方の格別のご協力とご支援によるものと感謝している。引き続き、私共御推挙を頂いて五期をやらせて頂くことになった。...

- ② 本連盟推薦県議会・市議会議員との連絡調整に関する事... ③ 本連盟員の相互協力と政治意識の高揚に関する事... ④ 各行政機関にかかわる医政問題に関する事... ⑤ 日本歯科医師連盟と

第一回政連理事会開催



理事会風景

長岡会長より「政界は正に戦国時代であり、米問題まで絡み国民の願いとは裏腹に全く予想できない深刻な状況となっております。日歯政連では小春参議院議員の自民党離党問題、次期参院候補者の推選と事欠ないよう...

平成六年三月二十六日(土)午後二時より鯉城会館五階「ルビー」にて標記理事会が開催された。小早川副会長の座長のもと、谷広副会長の開会の辞で開始された。...

広島県歯科医師連盟 評議員・予備評議員名簿

任期(自平成六年四月一日) 平成九年三月三十一日

Table with columns for District (広島, 尾道), Position (評議員, 予備評議員), Name, and Address. Lists names like 瓜生健弘, 田中敏三郎, etc.

広島県歯科医師連盟役員名簿

任期(自平成六年四月一日) 平成九年三月三十一日

Table with columns for Position (役員), Name, and Address. Lists roles like 会長 (小早川隆幸), 副会長 (本山村幸), etc.



# どうなる次期参院選

## 比例代表の候補者いまだ決まらず

日本歯科医師連盟では、来年の参議院比例代表選挙に向けて、昨年九月二十四日、第六十二回評議員会決議「次期参議院比例代表選挙に単一候補を擁立する」に沿って、単一候補者の選考に取り組み始めているが、いぜん混迷は続いているようである。

昨年十一月三十日、候補者の申請締切時には、近北地区(奈良県)より松井正剛氏、信越地区(新潟県)より木暮山人氏、関東地区(神奈川県)より原慶治氏、以上三名の申請があったが、木暮議員については本年二月二十五日の第一回常任理事会・第八回理事会合同会議に於て、木暮議員の自民党離党にもなる一連の行動に対し協議の結果、支持団体としての推薦を取り消し、在任中の支援活動は行わないこととする処分が決定され、同日、光安副理事長が木暮議員に対する決

## 次期参議院比例代表選挙対応の経過

平成六年五月二十五日 日本歯科医師連盟

平成五年 3月26日	第六十二回評議員会 で次期、参院選の対応を一任	次期参議院比例代表選挙の対応は、慣例に従い臨時委員会を設置して、選挙をやるかどうかを検討し、次に、もし選挙をやる場合は、候補者を選考するため、選挙委員会を設置し、単一候補者の選考を執行部に一任。
4月23日	第一回理事会で、臨時委員会を設置を協議	次期参議院比例代表選挙の対応は、慣例に従い臨時委員会を設置し、議員の選考方法を協議。委員は、議員から地区代表十人、役員から五人とした。
4月27日	臨時委員会委員の推薦方を通知	地区代表委員の選出は、各都道府県代表及び地区当番会長宛通知し、平成五年五月三十一日まで推薦方を依頼。
6月3日	地区推薦の委員受理	日歯政連は、各地区代表の委員十人の推薦を受け、
同日	役員選出委員を決定	会長一任の役員を代表する委員五人を決定、同日委嘱。
同日	第一回臨時委員会の開催を通知	六月十五日、第一回臨時委員会開催を通知。
6月15日	第一回次期参議院比例代表選挙対応検討臨時委員会開催	協議に先立ち、委員長に鈴木實(京都府)、副委員長に西岡忠文(香川県)を選出。次に中原会長より「次期参議院選挙に、候補者を擁立するか、否かについて」委員会に諮問された後、協議に入る。
7月13日	都道府県政治連盟会長会議開催	都道府県政連盟会長会議を開催し、次期参議院選挙臨時委員会の経過を報告する
7月15日	第二回次期参議院比例代表選挙対応検討臨時委員会開催	次期参議院選挙に、本連盟の単一候補を擁立し、従前どおり比例代表選挙に取組む、との答申を決定。
8月27日	第三回理事会で、選挙対応を協議	次期参議院選挙対応については協議の結果、執行部は、委員会答申を尊重することを決定、これにより執行部は責任をもって、単一候補を擁立し選挙に取組むことを承認。
9月24日	第六十二回評議員会 で、次期参院選に、単一候補の擁立を決定	各都道府県代表者並びに各地区当番会長宛に、候補者の推薦、候補者の選考委員会を協議し、即日、各都道府県へ通知することを決定。
10月22日	第七回常任理事会 で候補者の推薦、選考委員会の設置を協議	各都道府県代表者並びに各地区当番会長宛に、候補者の推薦、候補者の選考委員会を協議し、即日、各都道府県へ通知することを決定。
同日	候補者の推薦方を通知	各都道府県代表者並びに各地区当番会長宛に、候補者の推薦方を通知し、十一月三十日まで提出を依頼。
同日	選考委員会委員の推薦方を通知	各都道府県代表者並びに各地区当番会長宛に、選考委員会委員の推薦方を通知し、十一月三十日まで提出を依頼。
11月26日	第五回理事会で、役員選出委員を決定	会長一任の役員を代表する委員五人を決定。
11月29日	地区推薦の委員受理	日歯政連は、各地区代表の委員二十四名の推薦を受け、
11月30日	候補者の申請締切	比例代表候補の申請締切は午後五時三十分をもって終了。十一月三十日受付順に、近北地区(奈良県)より松井正剛氏、信越地区(新潟県)より木暮山人氏、関東地区(神奈川県)より原慶治氏、以上三名を受付。
12月8日	第一回選考委員会開催	初会合は、まず正副委員長を選出し、委員長に上領清範、副委員長に福岡保郎を決め、協議では次回、単一候補申請者三氏を委員会に招致して政治信条、抱負、政策等をうかがう。なお、候補者の客観的な基礎資料を得る手掛かりとして、三氏に関する委員の意識調査を行うとした。
平成六年 1月11日	委員の政治意識調査を委託	選挙審議を推進するため、専門の調査機関へ委員の政治意識調査を委託し、現時点における政治意識の動向、また松井、木暮、原三氏の知名、適正など客観的な基礎資料を得る手掛かりとして、無作為抽出1000分の20により実施。その結果は二月下旬。
1月21日	政治改革関連四法案が参議院で否決	参議院本会議において、政治改革関連四法案が賛成一一八票、反対一三〇票の一ニ票差で否決。木暮山人議員は自民党の党議に反して賛成票を投じた。
1月24日	木暮議員は自民党に離党届を提出	午前、木暮山人議員が自民党本部に離党届を提出。委員会は、松井正剛、原慶治の両氏より、それぞれ政治信条、抱負等の挨拶を受けた。木暮議員は欠席(政治信条の書面提出もなし)。この後、自民党離党にもなる事前連絡等々の問題が協議され、全会一致をもって木暮議員は次期候補の選考から除外された。
1月28日	第二回選考委員会開催	午後二時から自由民主党党紀委員会(委員長林田修紀夫)が開催され、木暮議員は参議院における政府提出の政治改革関連四法案採決に当って、党議決定違反として除名処分を値いすると委員長が記者会見で発表。
2月1日	上領選考委員長より書	委員会は第一回及び第二回の審議結果に基づき、木暮山人氏を次期候補の選考から除外する中間報告を会長に提出。
2月2日	自民党紀委員会 は木暮議員の処分を審議	午後二時から自由民主党党紀委員会(委員長林田修紀夫)が開催され、木暮議員は参議院における政府提出の政治改革関連四法案採決に当って、党議決定違反として除名処分を値いすると委員長が記者会見で発表。
2月4日	自民党紀委員会 は党紀違反者の処分を意見表明	木暮議員は、二月二日党紀委員会審議のとおり、除名処分を値いすると自民党は文書により意見表明。
2月25日	第十一回常任理事会・第八回理事会 合同会議で選考委員会中間報告書を了承	第十一回常任理事会・第八回理事会合同会議において選考委員会中間報告書について協議した結果、報告書了承し、木暮山人氏を次期候補の選考対象から除外することを決定。
同日	同合同会議で木暮議員の自民党離党にもなる一連の行動に対し協議の結果、支持団体としての推薦を取り消し、在任中の支援活動は行わないこととする処分が決定された。	また、同合同会議で木暮議員の自民党離党にもなる一連の行動に対し協議の結果、支持団体としての推薦を取り消し、在任中の支援活動は行わないこととする処分が決定された。同日、光安副理事長が木暮議員に対する決定通知を直接手渡し、説明を行った。
2月28日	木暮議員に対する決定通知を都道府県に送付	木暮議員に対する決定通知を都道府県に送付。
3月2日	第三回選考委員会開催	午後一時、第三回参議院比例代表選挙候補者選考委員会を開催。審議に先立ち、専門調査機関に委託した「一委員の政治意識調査結果」より詳細に報告された。調査は木暮氏が選考から外れた前十一月十一日に外注したため、松井、木暮、原三氏の調査結果を机上配布し説明された。調査結果を総括すると、松井、原両氏は新人として当然であり、木暮氏に選考に向けてかたがたの結果がだされ、また木暮氏についても実績評価や適任性に厳しい結果が示された。
3月11日	近北地区当番県・大阪府政治連盟 野会長より松井正剛氏の申請取り下げ通知を受理	近北地区当番県・大阪府政治連盟野会長より松井正剛氏の申請取り下げについて通知が送付され、上領委員長これを受理。
3月14日	関東地区当番県・山梨県政治連盟 松会長より原慶治氏の申請取り下げ通知を受理	関東地区当番県・山梨県政治連盟松会長より原慶治氏の申請取り下げについて通知が送付され、上領委員長これを受理。
3月24日	第四回選考委員会開催	第四回選考委員会は、三月十一日近北地区当番県会長並びに、三月十四日関東地区当番県会長より相次いで、松井、原両氏の「候補者申請取り下げについて」文書が出されたため、委員会は三月二十四日午後四時から急遽開催した。
同日	第六十三回評議員会 合同会議で選考委員会事務引き継ぎまでの対応措置を承認	上領委員長より選考委員会規程第七條(単一候補者の推薦申請者の先議)の該当者はいないとする報告書を承認。
同日	第六十三回評議員会 合同会議で選考委員会事務引き継ぎまでの対応措置を承認	選考委員会は、単一候補者を選考する重要性に鑑み、役員改選に伴う新たな選考委員会設置まで、現委員会がその任務を遂行するという対応措置を承認した。